平成30年度　学校自己評価表　（　計画段階　・　実施段階　）

福岡県立育徳館中学校長　　印　　中1

学校運営計画（4月）			評価（3月）
学校運営方針	中高一貫教育指導方針（中・長期的ビジョン）に則り、全教職員が一丸となり、生徒の人間力伸長に努める。		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
○基本研修をはじめとする各教科の授業研究・研究協議を実施。ｱｸﾃｨﾌﾞ・ﾗｰﾆﾝｸﾞに関する研修を実施し、さらに授業改善及び教員の資質向上に努めた。 ○中高生徒会活動の充実に努め、生徒主体による体育大会・文化祭を通して主体性を伸ばした。また、次世代ﾘｰﾀﾞｰ塾等志を高める体験的な学習に積極的に参加を奨励した。 ●生徒の主体性を育むための方策を講じる。	○学力向上への取組 ○進路指導の充実 ○部活動の振興 ○志願者の獲得に向けた広報活動の重視 ○生徒会活動の活性化及び言語活動や体験活動を重視した学習活動の充実 ○中学生と高校生の交流による教育効果の向上 ○学校教育活動全体を通した道徳教育の充実 ○グローバル人材の育成	・生徒が生き生きと学ぶ授業展開を工夫し、考える力の育成に努める。また、自主的自発的学習を促進し、資質・能力の育成に資する指導法を工夫する。 ・部活動の活性化を図り，勉学と部活動の両立による全人教育を行う。 ・小学校への広報活動をとおして、充実した教育内容を周知し、志願者の増加を図る。 ・公徳心に溢れ、公共に奉仕する精神やリーダーシップを育成すると共に、次世代リーダー養成塾や科学の甲子園ジュニアなどへ積極的に参加させる。 ・体育大会、文化祭、生徒会行事、体験学習などにおいて、中高の交流を生かす。 ・授業はもとより学校行事等における道徳教育の深化を図る。	A

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（3月）			次年度の主な課題
教務部	自主的・自発的に学ぶ力の育成	「生活ノート」（毎日）、「家庭学習時間調査」（年4回）を活用し、学習習慣確立の支援をする。	A	A	A	1　アクティブ・ラーニングの視点からの学習過程改善の継続 （新しい時代に求められる資質・能力の育成、学習過程の質的改善） 2　「生活ノート」を活用した学習習慣の確立の支援、学習意欲の向上 3　「授業アンケート」を活用した授業の質や生徒の学習規律・意欲の向上 4　「家庭学習時間調査」の実施による自主的な学習習慣の確立 5　育徳館中学校の「特色ある教育活動」についての広報活動のさらなる工夫
		授業研週間（年8日間）を活用し、生徒の興味・関心を生かした学習指導の研究、改善をする。	A			
	学校教育目標達成のための授業改善	「思考力・判断力・表現力」育成のための校内研究授業、事後協議会を実施する。（全教科1回）	A	A		
		「授業アンケート」の結果をもとに分析・改善し、教科指導力を向上させる。（1学期1回、2学期1回）	A			
	「主体的・対話的で深い学び」の実現	教科等における「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業を推進する。（通年）	A	B		
		学習・指導方法の研究、計画・実施をする。	B			
進路指導部	「育徳ビジョン」に基づくキャリア教育の充実	「キャリア教育年間指導計画」による、より充実したキャリア教育を実践する。	A	A	A	1　大学入試（新テストを含む）を意識させたキャリア教育、進路指導の充実 2　セミナーやコンテスト参加へのさらなる呼びかけと掘り起こし 3　進路意識の向上と成績上位者に対する進路指導の充実 4　講師や企業、大学との連絡調整と連携 5　模試結果のさらなる分析、活用
		「進路検討委員会」においてキャリア教育の進捗状況の把握および協議・改善を行う。（毎週）	B			
	進路希望の実現を目的とした学力向上につながる支援体制の強化	キャリア教育と連動させた「進路希望調査」を実施する。（年間1回実施）	B	A		
		模試等の成績分析を実施し各教科に還元する。	A			
	「次世代のリーダー」たる人材の育成	「医学部進学研究会」における医歯薬系を目指す生徒への意識の高揚を目指す。	B	B		
		家庭と連携して、国や県などの主催する各種セミナー、コンテスト等への参加促進を図る。	A			
生徒指導部	生徒の生命、人権を守り、安全・安心の学校づくり	あらゆる場面において、生命の大切さ・尊さを訴え、生徒の自他を尊重する雰囲気を醸成する。	A	A	A	1　基本的生活習慣の確立及び思いやりの心の育成等、人としての在り方生き方を考えさせる教育の推進 2　生命を守るための交通安全教育の推進及びバス等、公共交通機関の乗車マナーの向上 3　各学期ごとの学級編成及び生徒会活動の充実と活性化 4　緊急時に対応した防災非難訓練の実施と関係機関との連携、運動部活動の事故防止 5　健康教育（心の健康も含む）の推進と生徒会活動と連携した校内美化活動、校外ボランティア活動の充実・活性化 6　「積極的な生徒指導」の視点からの指導の充実 7　定期的な教育相談活動の充実・実施
		講話や様々な機会を通して、防犯教育、交通安全教育の推進を図る。	A			
	基本的生活習慣の確立及び思いやりの精神を有したリーダーの育成	基本的生活習慣の確立を図るために、規範意識を高める指導や挨拶の励行等を実施する。	A	A		
		次世代のリーダーを育成するために部活動や生徒会の活性化を図る。	B			
	健康教育の推進、美化意識・防災意識の向上	健康に関する相談事業や講演会の推進と、生徒が主体となった美化活動を実施する。	A	A		
		効率的・効果的な避難訓練や防災学習を通して防災・減災に対する意識を高める。	B			
育徳創造部	本校の魅力が発信できる広報活動の推進	体験入学や諸出版物の充実など、積極的なPR活動を行う。	A	B	A	1　育徳館中学生の生き生きした姿の発信【広報活動】 2　PTA及び同窓会との更なる連携【PTA活動等】 3　生徒の読書意欲が向上するための取り組みの工夫【図書教育】 4　参加体験型の内容やクオリティーの高い内容の精選【芸術鑑賞】 5　ホームページの内容の工夫【CPU管理】 6　ICTの活用をしやすさの改善【CPU管理】
		定期的な学校訪問など、本校の教育活動への理解を深めてもらう。	B			
	PTA活動や同窓会活動等諸組織との連携及び調整	PTA活動や同窓会活動との積極的な連携を図る。	A	A		
		二六〇周年記念行事の推進などを通して、本校の活性化を図る。	A			
	図書教育及び芸術文化事業の充実	生徒の読書意欲を向上するために定期的に選定委員会を開催していく。	A	A		
		芸術文化事業などを通して、情緒豊かな生徒を育む。	A			
	コンピュータネットワークの管理	コンピュータネットワークの適切な維持と管理及びホームページ等の更新と内容の充実を図る。	A	A		
		ICT活用の推進や環境整備に努める。	A			
第1学年	基本的生活習慣の確立と公徳心の育成	決まりを守る大切さにつなげるために、チャイム席や授業規律の徹底を図る。	A	A	A	1　思いやりの心を持ち、自他を尊重する雰囲気の醸成 2　学習規律の充実と自発的な家庭学習の定着 3　職業観育成プログラムを通した進路意識の向上 4　学級活動や学校行事等に積極的に取り組むことによる責任感とリーダーシップの育成
		自他を尊重する雰囲気の醸成を図るために生活ノートや教育相談の活用や声かけを積極的に行う。	A			
	学ぶ意欲や習慣の育成	継続的に自ら学ぶ習慣の定着を図るために、自主学習ノートの活用を促進する。	A	A		
		学習に向かう雰囲気作りと落ち着いた授業態度の育成を図る。	A			
	進路に対する意識の高揚	進路意識の向上のため、主体的・対話的な学びの視点から体験活動を取り入れた進路学習を実施する。	A	B		
		考える・まとめる・表現する力の育成を図るために、探求活動でのプレゼンテーション等を実施する。	B			
第2学年	基本的生活習慣の確立と公徳心の育成	学校生活の中で時間ときまりの厳守を徹底する。	A	B	A	1　生徒会活動の活性化によるリーダーシップの育成 2　学級活動の充実により学校生活満足度の向上 3　道徳教育と人権教育による道徳的実践力の育成 4　キャリア教育と大学調べを通して進路について目標を持たせる
		係活動や清掃などで自己の役割を自覚させ、責任を持って主体的に取り組ませる。	B			
	学ぶ意欲や習慣の育成	アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ生徒たちが能動的に学ぶスキルを育成する。	A	A		
		道徳教育を通して道徳的実践力を育成する。	B			
	進路に対する意識の高揚	キャリア教育を通して、自分自身の進路について深く考えさせる。	A	A		
		職業調べの内容をプレゼンテーションさせることでわかりやすく伝えるスキルを育成する。	A			
第3学年	中学最高学年生としての生活習慣の確立と公徳心の育成	時間を守ろうとする意識の向上及び集団のリーダーとしての自覚の育成を図る。	A	A	A	1　主体的に学習に取り組む体勢づくりと家庭学習習慣の確立。 2　自己理解、他者理解に対する取組と道徳教育の充実。 3　具体的な進路目標設定と目標達成に向けての学力向上。 4　高校入学にあたっての生活面や学習面に関する高い意識付け
		人権を尊重し、思いやりを持った行動や発言のできる生徒の育成を目指す。	A			
	学習習慣の定着と自発的に学ぶ意欲の高揚	楽しくわかる授業づくりとともに、落ち着いた授業態度を育成する。	A	A		
		計画的な家庭学習の習慣(平日180分、休日240分、達成率80%)の定着と充実を目指す。	B			
	明確な目標を持ち、進路実現に向けて努力する態度の育成	模試の結果を分析し、学年会議や検討会を行い、生徒の進路指導を行う。	B	B		
		自分の適性を見つめ、大学訪問等を通じて将来の自分像について考える機会を設定する。	A			